



高性能AE減水剤 分離低減タイプ

ADVA – FLOW

- ◆ **ADVA FLOW** は、コンクリートに高い粘性を与えることなく、分離抵抗性に優れたコンクリートを製造することができます。
- ◆ **ADVA-FLOW** は、コンクリートに添加することで、流動性の高いスランプコンクリートから、高流動コンクリートまで、幅広い領域のコンクリートに安定したフローを付与することができます。
- ◆ **ADVA-FLOW** は、コンクリートに優れた分離抵抗性を付与しますので、骨材の分離やブリーディングを抑制することができます。
- ◆ **ADVA-FLOW** は、JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」に適合した、無塩化、無アルカリタイプです。



使用方法

- ◆ **ADVA-FLOW** は、結合材に対して0.5%～3.0% (質量) の範囲内でご使用ください。これ以上の使用量の場合は、弊社にお問い合わせください。
- ◆ **ADVA-FLOW** の添加量は、使用材料や配(調)合により添加量は異なりますので、あらかじめ試し練りにてご確認の上、決定してください。

物 性

主 成 分	外 観	密度 (g/cm ³)	粘 度 (mPa·s 20)
ポリカルボン酸系化合物	褐色液体	1.015 ~ 1.055	200 ~ 500

コンクリート物性

- ◆ 凝結時間 : **ADVA-FLOW** は添加量が増加しても、大幅に遅延しません。
- ◆ 圧縮強度 : 無添加のコンクリートと水セメント比および空気量が同じであれば同等です。
- ◆ 凍結融解 : AE剤を添加し、所要の空気量を得ることによって、高い凍結融解抵抗性を示します。
- ◆ 長さ変化 : 無添加のコンクリートとほぼ同等の長さ変化率を示します。

注意事項

- ◆ 雨水、異物が混入しないように、また、凍結しないように保管して下さい。
- ◆ 取り扱いに際しては、ゴム手袋、マスク、保護メガネなどの保護具を着用して下さい。
- ◆ 皮膚についた場合は、速やかに清浄な水で十分洗い流して下さい。また、眼に入った場合は目をこすらず、直ちに清浄な水で十分洗眼したあと、医師の診断を受けて下さい。
- ◆ 飲み込んだ場合は直ちに吐かせ、多量の清浄な水を飲ませた後更に吐かせ、医師の診断を受けて下さい。
- ◆ 廃棄する場合は、産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

JIS A 6204 による試験結果例

項 目		JIS A 6204による規格値	試験値	
フレッシュコンクリート	減水率 (%)	18 以上	18	
	ブリーディング量の比 (%)	60 以下	29	
	凝結時間の差 (分)	始 発	-60 ~ +90	+ 10
		終 結	-60 ~ +90	+ 10
硬化コンクリート	圧縮強度比 (%)	材齢7日	125 以上	140
		材齢28日	115 以上	131
	長さ変化比 (%)	110 以下	100	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	92	
経時変化	スランブ (cm)	6.0 以下	2.5	
	空気量 (%)	± 1.5 以内	- 0.2	

基準コンクリート配合

スランブ18cm : W/C=48.0% s/a = 48.0% C = 350kg/m³

ADVA-FLOW 使用量 : C × 1.0%

高流動コンクリート試験例

使用材料 (試験室温度: 20)

セメント: 普通ポルトランドセメント3種等量混合 細骨材: 陸砂 粗骨材: 砕石 2005

W/C (%)	S/a (%)	単 位 量 (kg/m ³)		G _{vol} (m ³ /m ³)	ADVA-FLOW (C × %)
		W	C		
41.7	53.6	175	420	0.30	1.60

試験結果

フ ロー (mm)			空 気 量 (%)			圧 縮 強 度 (N/mm ²)	
直 後	30分	90分	直 後	30分	90分	7 日	28 日
595	610	630	4.5	4.2	4.3	42.2	53.2

グレースケミカルズ株式会社

本 社 〒105-0013 東京都港区浜松町2-9-6

Tel : 03 (5405) 2991 Fax : 03 (5405) 2994

技術部 〒243-0807 神奈川県厚木市金田100番地

Tel : 046 (225) 8877 Fax : 046 (221) 7214

GRACE
Construction Products

ここに記載された事項は、標準的な試験方法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

万が一、本資料に掲載する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。